

# 第 1 1 章 緑視率調査

## 1. 緑視率調査の方法

緑視とは人の目に映る緑の量で、立面的な視野内に占める緑量の割合を緑視率という。人間の緑に対する満足度、意識量の把握手段として用いられ、人間の普通の視野の範囲で撮影した写真等を用い、その中に占める樹木等の緑の面積占有率を集計するものである。

本調査では、平成 19 年度に調査を行った 70 地点を調査地点とした。

調査方法は、各地点において図 11-1 に示すとおり、交差点の各方向を人の視野に近い範囲で写真撮影し、各写真内に占めるみどりの割合を視点数で平均して緑視率を求めた。

また、前回と比較を行うため、できるだけ同じ範囲が入るようにデジタルカメラで撮影し、画角の統一を図った。撮影を実施した地点は図 11-9 のとおりである。

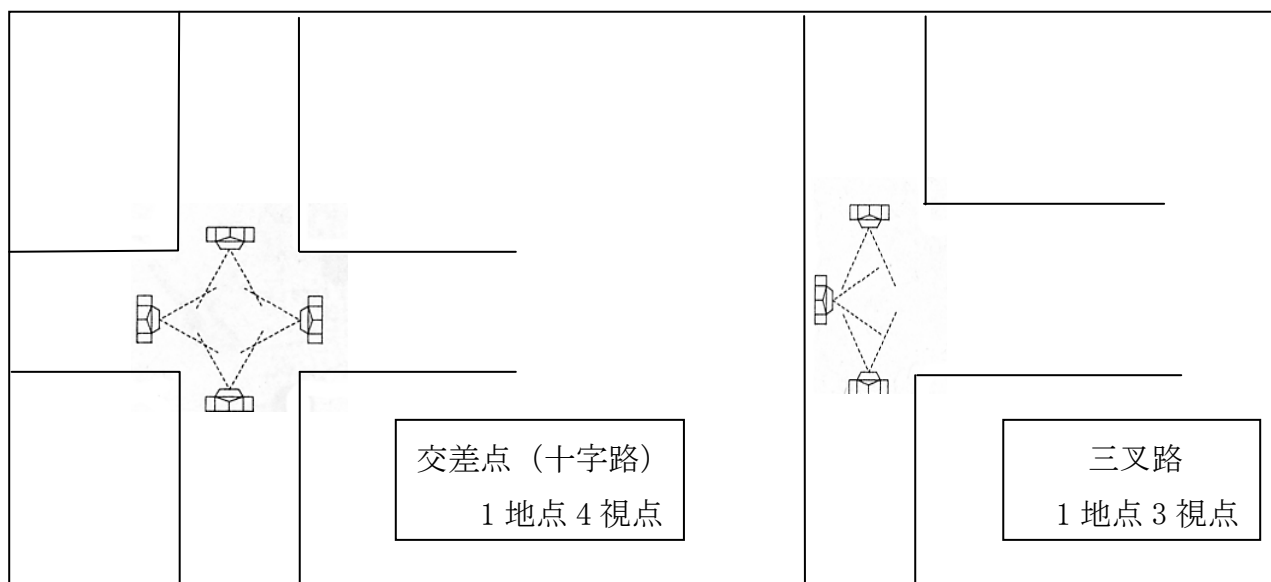
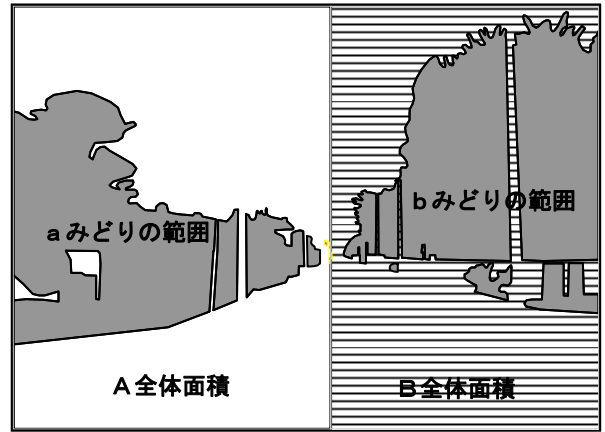


図 11-1 写真撮影方向

緑視率の計測方法は前回の計測方法を踏襲して、撮影した写真から前回調査と同様の測定範囲を抽出し、測定範囲を左右に分割して左右それぞれの写真範囲と緑の範囲を計測して緑視率を求めた。

$$\text{緑視率 (\%)} = \frac{(\text{左側の緑の範囲面積} + \text{右側の緑の範囲面積})}{(\text{左側の写真面積} + \text{右側の写真面積})} \times 100$$



$$\text{一方方向からの緑視率(\%)} = (a+b) \div (A+B) \times 100$$

図 11-2 緑視率の測定方法

## 2. 緑視率調査の結果

緑視率調査結果より区全体 70 箇所の平均緑視率は 23.06%であった。

地域別で見ると、緑視率が最も高いのが阿佐谷地域の 28.03%、最も低いのは西萩地域の 16.55%であった。

ゾーン別に見ると、緑視率が最も高いのが成田ゾーンの 36.97%、次いで荻窪南ゾーンが 30.84%であった。成田ゾーンは緑被率も最も高い値であったが、荻窪南ゾーンの緑被率は区平均よりも低い値であった。緑視率の計測地点は各ゾーンで 5 箇所の代表点を選んでいるため、緑被率が高いから必ずしも緑視率が高いとは限らないことが分かる。

一方、緑視率の最も低いのは荻窪北ゾーンの 13.24%であった。

表 11-1 地域・ゾーン別緑視率

地域・ゾーン	平均緑視率(%)
上井草	28.31%
下井草	17.18%
井草	22.75%
西萩北	17.51%
西萩南	15.58%
西萩	16.55%
荻窪北	13.24%
荻窪南	30.84%
荻窪	22.04%
阿佐谷	19.09%
成田	36.97%
阿佐谷	28.03%
高円寺	19.59%
和田・堀ノ内	25.92%
高円寺	22.75%
高井戸西	21.26%
高井戸東	28.75%
高井戸	25.01%
永福	24.68%
方南・和泉	23.94%
方南・和泉	24.31%
区全体	23.06%

区全体平均緑視率 23.06%と同等の状況の事例は 10-5-3 (23.09%) である。連続して接道部緑化があるものの、高木が少ない状況であった。みどりが多いと感じるのは緑視率が25%以上※であるといわれているが、緑視率25%程度の事例は9-4-1 (24.88%) である。接道部緑化は少ないが、公園の植え込みと高木により緑視率が高くなっている。

※「都市の緑量と心理的効果の相関関係の社会実験について 国土交通省」より



10-5-3 和田三丁目 緑視率 23.09%

図 11-3 10-5-3 緑視率の状況



9-4-1 高円寺南五丁目 緑視率 24.88%

図 11-4 9-4-1 緑視率の状況

次にみどりの多い住宅地の事例を示す。

住宅地内で緑視率が高いものは庭木に高木がある場合、公園や樹木の多い学校等がある場合である。11-5-2 左側の樹木群は屋敷林で、生垣も整備されておりみどりの多い環境をつくりだしている。



4-4-4 西荻南二丁目 緑視率 33.06%

図 11-5 4-4-4 緑視率の状況



11-5-2 上高井戸二丁目 緑視率 30.77%

図 11-6 11-5-2 緑視率の状況



次は商業地域の事例を示す。商業地は建ぺい率が高く、接道部を店舗として活用しているため、緑視率は低い傾向にあり、1%以下の地点も多い。その中で、7-4-2の中杉通りは区を代表するみどり多い商業地であり緑視率は43.90%であった。



7-4-2 阿佐谷南二丁目 緑視率 43.90%



4-2-4 西荻南二丁目 緑視率 0.01%

図 11-7 7-4-2 緑視率の状況

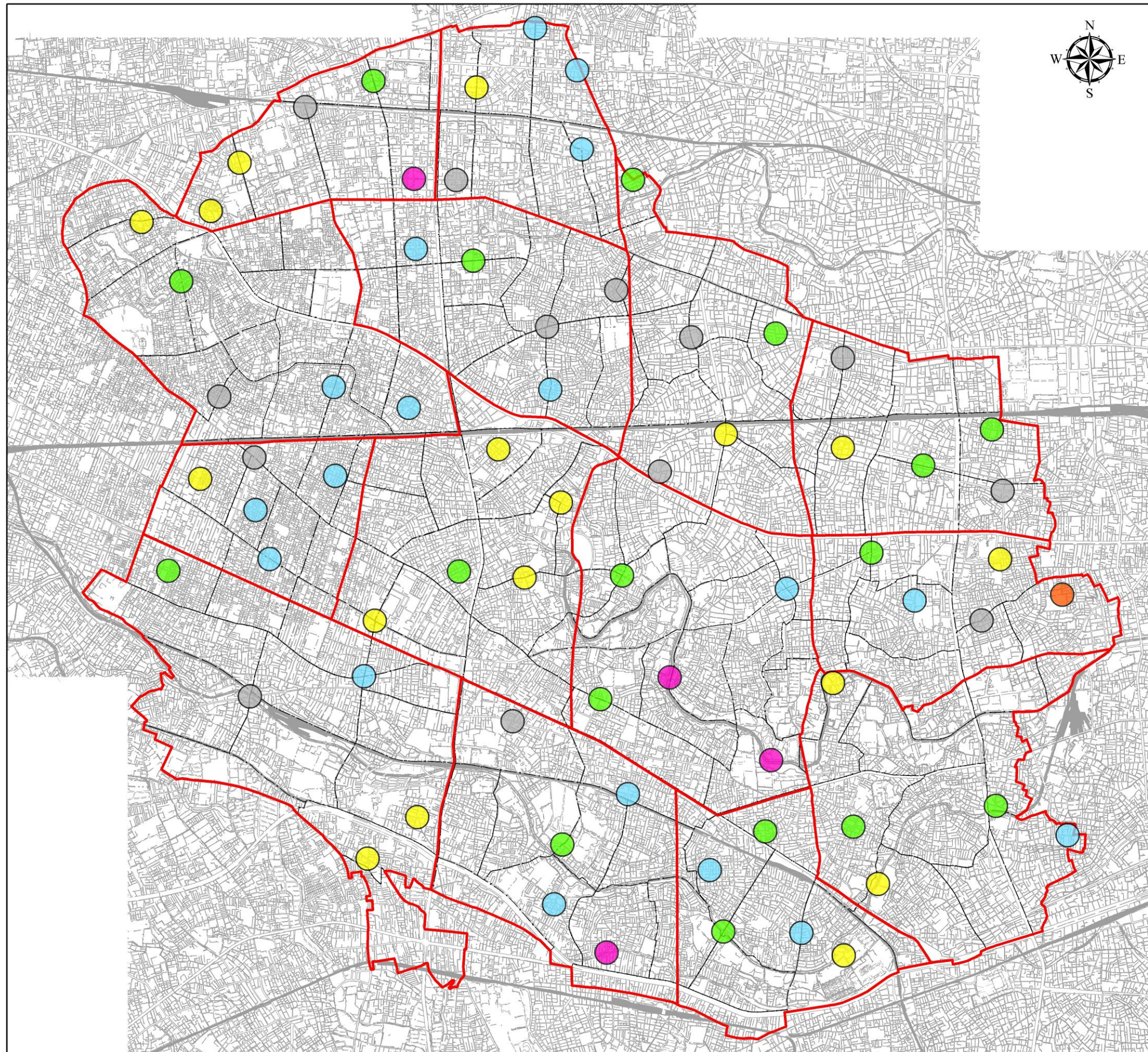
図 11-8 4-2-4 緑視率の状況

表 11-2 地点別緑視率

ゾーン名	地点番号	地点平均緑視率(%)
上井草	1-1	25.90%
上井草	1-2	3.50%
上井草	1-3	30.34%
上井草	1-4	30.91%
上井草	1-5	50.89%
下井草	2-1	15.59%
下井草	2-2	32.10%
下井草	2-3	7.97%
下井草	2-4	14.91%
下井草	2-5	15.34%
西荻北	3-1	30.10%
西荻北	3-2	20.21%
西荻北	3-3	5.03%
西荻北	3-4	19.21%
西荻北	3-5	13.03%
西荻南	4-1	30.63%
西荻南	4-2	0.62%
西荻南	4-3	17.30%
西荻南	4-4	18.20%
西荻南	4-5	11.13%
荻窪北	5-1	13.15%
荻窪北	5-2	26.55%
荻窪北	5-3	9.81%
荻窪北	5-4	4.40%
荻窪北	5-5	12.32%
荻窪南	6-1	34.90%
荻窪南	6-2	31.50%
荻窪南	6-3	24.53%
荻窪南	6-4	30.91%
荻窪南	6-5	32.35%
阿佐谷	7-1	27.19%
阿佐谷	7-2	5.87%
阿佐谷	7-3	21.92%
阿佐谷	7-4	30.95%
阿佐谷	7-5	9.53%
成田	8-1	28.38%
成田	8-2	19.73%
成田	8-3	23.99%
成田	8-4	60.23%
成田	8-5	52.51%

ゾーン名	地点番号	地点平均緑視率(%)
高円寺	9-1	9.65%
高円寺	9-2	34.10%
高円寺	9-3	29.37%
高円寺	9-4	20.67%
高円寺	9-5	4.15%
和田・堀ノ内	10-1	23.58%
和田・堀ノ内	10-2	17.37%
和田・堀ノ内	10-3	5.39%
和田・堀ノ内	10-4	44.18%
和田・堀ノ内	10-5	39.08%
高井戸西	11-1	26.46%
高井戸西	11-2	12.90%
高井戸西	11-3	2.87%
高井戸西	11-4	31.97%
高井戸西	11-5	32.11%
高井戸東	12-1	6.21%
高井戸東	12-2	13.32%
高井戸東	12-3	26.46%
高井戸東	12-4	17.88%
高井戸東	12-5	79.89%
永福	13-1	28.82%
永福	13-2	16.37%
永福	13-3	22.09%
永福	13-4	18.32%
永福	13-5	37.80%
方南・和泉	14-1	34.38%
方南・和泉	14-2	20.82%
方南・和泉	14-3	21.28%
方南・和泉	14-4	33.13%
方南・和泉	14-5	10.07%
区平均		23.06%





地域・ゾーン区分図

凡例

- 0～10%
- 10～20%
- 20～30%
- 30～40%
- 40～50%
- 50%以上
- ゾーン界
- 町丁目界



図 11-9 緑視率状況図

利用許諾番号:MMT 利許第 007 号-23 この図の無断複製を禁じる。



### 3. 緑視率の推移

平成19年度調査の区全体の平均緑視率は20.79%であったが、平成24年度調査の区全体の平均緑視率は23.06%で、2.27ポイントの増加であった。

箇所別緑視率の推移を図11-10に示す。

平成19年度調査では緑視率5～15%が最も多く73箇所であるが、平成24年度調査では緑視率15～25%が最も多く73箇所であった。また緑視率が25%以上の箇所も平成19年度調査が87箇所に対して、平成24年度調査では99箇所となり、12箇所増加しており、5%未満の箇所数も平成24年度が5箇所少ない36箇所であった。

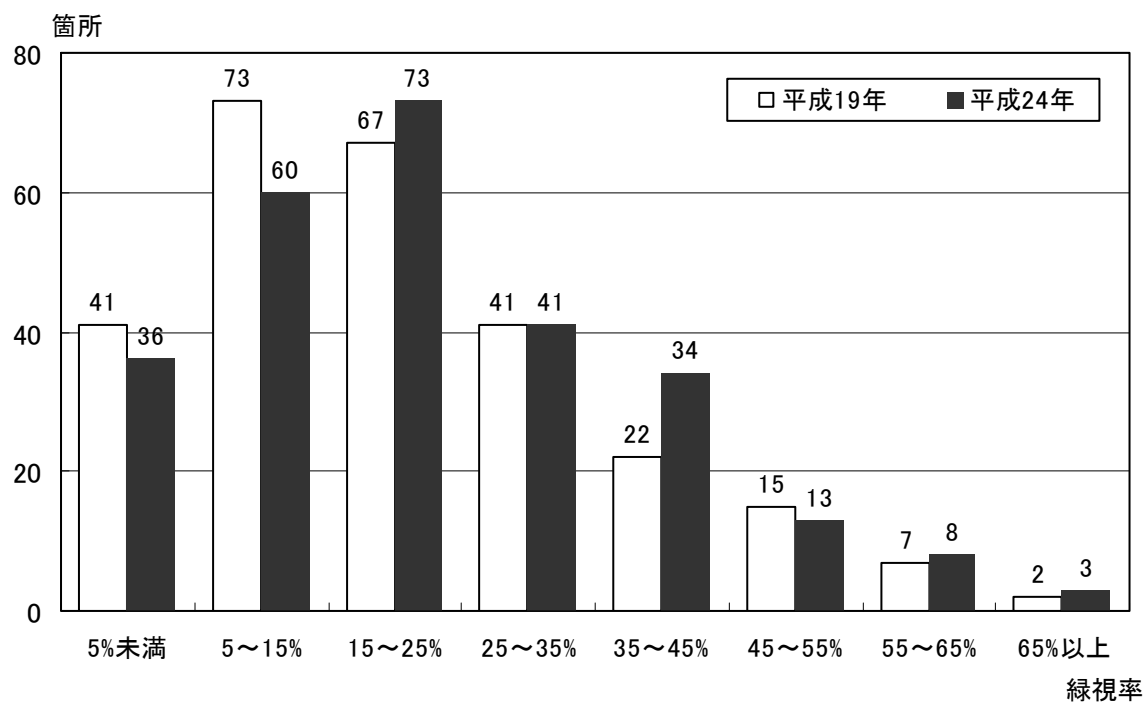


図11-10 箇所別緑視率の推移

緑視率の主な増加箇所を図 11-11、図 11-12 示す。

4-1-1 は集合住宅の建築によって接道部緑化が増えたことにより緑視率が増加した事例である。平成 19 年度は建築中であったが、平成 24 年度では低木と高木の混合植栽による接道部緑化が整備された。



平成 19 年度 4-1-1 緑視率 10.33%



平成 24 年度 4-1-1 緑視率 29.37%

図 11-11 4-1-1 緑視率の変化状況

9-2-2 は桃園川緑道で、平成 19 年度の緑視率も 46.28% と高いが、樹木の生長によってみどりのボリュームが増すことで緑視率 64.28% となった。



平成 19 年度 9-2-2 緑視率 46.28%



平成 24 年度 9-2-2 緑視率 64.28%

図 11-12 9-2-2 緑視率の変化状況



緑視率の主な減少箇所を図 11-13 に示す。

13-2-2 では建物の建築に伴い樹林が消失し、平成 19 年度調査では緑視率 28.92%であったが、平成 24 年度調査では 15.93%となり、12.99 ポイントの減少であった。



平成 19 年度 13-2-2 緑視率 28.92%



平成 24 年度 13-2-2 緑視率 15.93%

図 11-13 13-2-2 緑視率の変化状況